

1. 気象経過

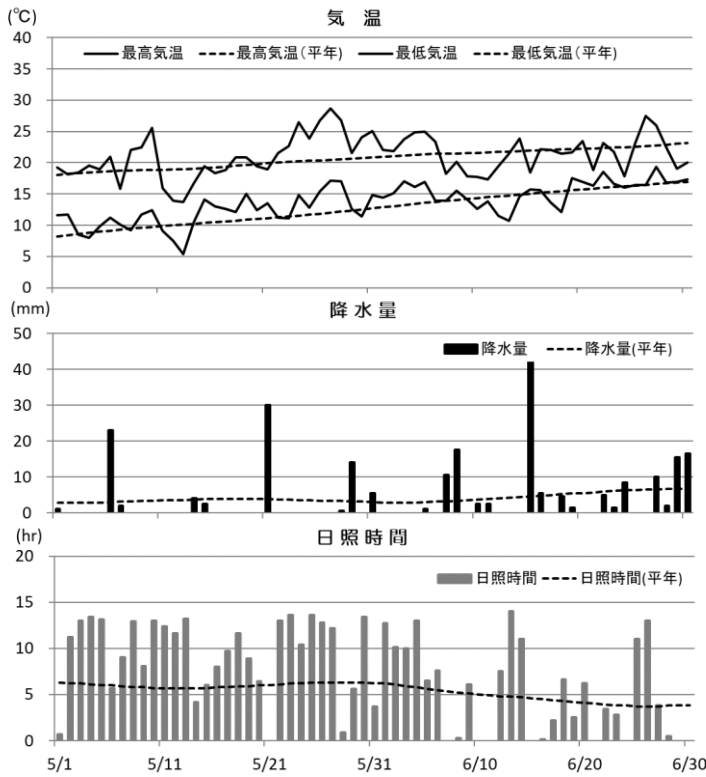


図1 気象経過 (亶理アメダス 5/1~6/30)

表1 旬別気象データ (亶理アメダス)

	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(時間)	
	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
5月 月上旬	15.3	1.5	26.0	95%	100.1	167%
中旬	14.4	-0.1	6.5	15%	92.0	169%
下旬	18.8	3.0	50.0	132%	99.2	143%
6月 月上旬	17.9	0.6	31.5	110%	66.3	117%
中旬	17.6	-0.6	57.0	119%	50.1	104%
下旬	19.3	0.2	59.0	88%	34.5	93%

・6月の気温は、月上旬までは5月から引き続いての高温傾向でしたが、7日の梅雨入り以降は低温で曇りや雨天の日が多くなりました。降水量は、6月上旬でやや少なかったものの、月平均では平年並となりました。

2. 生育概況

(1) 移植栽培

品種	調査地点	田植月日 (前年差)	栽植密度 (株/㎡)		6月20日調査				7月1日調査			
					草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)
1 ひとめぼれ	名取市 愛島	5月18日 (3日早)	18.1	本年値	32.0	226	8.4	41.1	42.3	416	10.1	46.2
				平年比・差	89%	61%	0.1	0.6	87%	83%	0.0	5.5
				前年比・差	99%	74%	0.8	3.0	87%	83%	0.3	4.0
2 ひとめぼれ	岩沼市 押分	5月15日 (7日遅)	17.2	本年値	30.9	243	8.2	44.0	49.7	416	9.7	48.0
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	78%	77%	-0.4	-0.7	96%	95%	-0.4	9.1
3 ひとめぼれ	亶理町 逢隈	5月6日 (2日遅)	18.6	本年値	37.9	506	8.9	45.7	54.4	644	10.1	36.0
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	91%	119%	0.7	1.6	93%	103%	0.2	-10.2
4 ひとめぼれ	山元町 坂元	5月18日 (4日早)	16.5	本年値	36.4	254	8.0	42.7	52.7	421	9.6	44.6
				平年比・差	111%	97%	0.3	0.0	112%	90%	0.2	0.8
				前年比・差	107%	123%	0.5	1.0	103%	91%	-0.1	-4.3
5 だて正夢	亶理町 逢隈	5月11日 (7日遅)	18.7	本年値	42.9	380	8.6	42.8	54.2	540	10.0	48.2
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	96%	102%	0.4	-2.2	87%	105%	0.1	5.2

※平年値は過去5か年(H26~30年)の平均値を使用。調査ほ場が変わっている場合は、平年値を示していません。

・7月1日現在で、茎数は平年を下回るものの、必要茎数は確保しています。葉数は平年並です。

(2) 直播栽培

品種	調査地点	播種月日	播種様式	6月20日調査				7月1日調査			
				草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)
1 ひとめぼれ	岩沼市 押分	4月9日	乾田直播 条播	34.1	525	7.7	40.9	39.6	701	9.3	40.7
2 ササニシキ	名取市 杉ヶ袋	4月23日	乾田直播 条播	32.6	316	6.0	34.9	39.7	470	8.2	42.5
3 げんきまる	山元町 浅生原	4月16日	乾田直播 条播	33.2	251	7.3	36.5	40.7	283	8.7	38.9

- ほ場により莖数の進展にバラつきがあります。
- 葉数は移植より1枚前後少なく、移植に比べて7~10日遅れの生育となっています。

直播のツボ②「湛水直播栽培」のコーティング資材の違い

- 湛水直播栽培には、複数のコーティング資材があり、それぞれ特徴が異なります。資材を選ぶ際には、特徴を確認して選びましょう。

種類	鉄コーティング	べんがらモリブデン	カルパー
資材	<ul style="list-style-type: none"> 鉄粉(還元鉄) 焼石膏 	<ul style="list-style-type: none"> べんモリ資材(価格安め) -べんがら(酸化鉄) -モリブデン -ポリビニルアルコール(PVA) 	<ul style="list-style-type: none"> カルパー粉粒剤(価格高め)
種子調整	<ul style="list-style-type: none"> 浸漬粉 	<ul style="list-style-type: none"> 浸漬粉または催芽粉 	<ul style="list-style-type: none"> 催芽粉
被覆	<ul style="list-style-type: none"> 被覆方法が難しい(長時間) 鉄粉酸化時の発熱による種子死滅可能性あり 	<ul style="list-style-type: none"> 被覆方法が簡単 	<ul style="list-style-type: none"> 被覆方法が難しい
保存	<ul style="list-style-type: none"> 低温庫で長期保存可能 	<ul style="list-style-type: none"> 浸漬粉は長期保存可能 催芽粉は低温庫で1週間程度 	<ul style="list-style-type: none"> 低温庫で1週間程度
代かき (播種床の硬さ)	<ul style="list-style-type: none"> 播種3~4日前程度 表面を硬くする 	<ul style="list-style-type: none"> 播種1~3日前程度(移植並) 表面を軟らかくする 	
播種	<ul style="list-style-type: none"> 表面播種 	<ul style="list-style-type: none"> 土中播種 	
鳥害	<ul style="list-style-type: none"> 鳥害に強い 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥害に弱い 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥害にやや弱い
倒伏	<ul style="list-style-type: none"> 倒伏しやすい 収穫時稲株が抜けやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 倒伏しにくい 収穫時稲株が抜けにくい 	

3. 今後の管理

(1) 水管理

- 中干しの期間は 7～10 日間とし、遅くとも幼穂形成始期（幼穂の長さが1～2mm 程度）までに終えるようにします。
- 中干し終了後、急に湛水状態にすると土壌の還元が急激に進み、中干しをしない場合よりも酸素不足になり根を傷めやすくなります。中干し終了直後は走水程度とし、徐々に湛水状態に戻しましょう。
- 幼穂形成期から出穂・開花までの期間は、低温の障害をうけやすくなります。日平均気温 20℃以下または最低気温 17℃以下の低温が予想される場合は、可能な限り深水としましょう。

(2) 病虫害防除

①いもち病

- 宮城県病虫害防除所のデータ（6月30日現在）では、いもち病の感染好適条件が6月25日、28日、30日に名取・亘理地域で連続して出現しています。葉いもちの発病は7月中旬頃に増えることが予想されます。こまめにほ場を観察し、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。
- * いもち病の感染好適条件とは、葉いもちの大量感染に好適な気象条件（葉面湿潤時間 10 時間以上、平均気温 15～25℃、前 5 日間の平均気温 20～25℃）が出現した日をいいます。この条件が連続して出現した場合、約 2 週間後に葉いもちの発病の増加が始まります。

②紋枯病

- 紋枯病は、前年の病斑上に形成された菌核がほ場に残り、翌年の伝染源となります。昨年多発したほ場では、今年も発生する可能性が高くなります。
- 高温で降雨日数が多いと株間湿度が高まり、病気の進展が著しくなります。

<予防防除を行う場合>

- 数年間多発しているほ場では、出穂前に予防的効果のある水面施用剤の使用を検討しましょう。

<発病後に防除を行う場合>

- 要防除水準（減収率 5%以下を想定して防除する場合）は、出穂直前（穂ばらみ期）の発病株率が「ひとめぼれ」で 18%、「ササニシキ」で 10%です。
- 紋枯病の発生程度の調査は、代かき後に菌核が溜まりやすい、畦畔際や水尻側で行います。出穂直前に発病株数が 100 株中 18 株以上見られた場合は、茎葉処理剤による防除を検討しましょう。



紋枯病の病斑(上図)と菌核(下図)
(出典：県病虫害防除所)

③斑点米カメムシ類対策（雑草防除）

<畦畔管理>

- ・ イネ科雑草（特にイタリアンライグラス等）の多い畦畔では、斑点米カメムシ類が誘引されて産卵・繁殖する場所となり、斑点米被害につながる可能性が高くなります。計画的に畦畔の除草を行いましょう。
- ・ 出穂期前後の草刈りは、水田内に斑点米カメムシ類を追い込むことになるため、草刈りは出穂 15～10 日前までに終わらしましょう。



イヌホタルイの穂上のアカスジカスミカメ
(出典：県病害虫防除所)

<本田雑草対策>

- ・ 水田内に残ったノビエ・イヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類をほ場に呼び寄せ、斑点米被害の原因となります。
- ・ 特にイヌホタルイは、アカスジカスミカメが寄生・産卵し、ほ場内のカメムシの発生密度が高まるため、防除を徹底しましょう。

(3) 追肥

- ・ ほ場を良く観察し、莖数や葉色、生育ステージ等を考慮して、品種毎に適正な追肥を実施し、葉色の維持に努めましょう。穂揃期の葉色維持は、登熟や玄米充実度の向上につながります。

表 2 幼穂形成期および減数分裂期の葉色および追肥の目

品種名	幼穂形成期(幼穂長1～2mm)			減数分裂期(幼穂長3～12cm)		
	カラースケール(群落)	葉緑素計値	施肥量(窒素成分量)	カラースケール(群落)	葉緑素計値	施肥量(窒素成分量)
ひとめぼれ	4.2～4.5	37～39	1kg/10a	3.9～4.2	35～37	1kg/10a
ササニシキ	—	—	—	3.4～3.7	32～34	1～1.5kg/10a
つや姫・まなむすめ	3.9～4.2	35～37	2kg/10a	—	—	—
だて正夢	*下記の「だて正夢」の栽培管理をご覧ください					

表 3 穂肥窒素の施用時期と生産要因への影響

	穂数の増加	1穂粒数の増加	1穂粒数の減少防止	登熟の良化	下位節間の伸長と倒伏
幼穂形成期	○	◎	○		×
減数分裂期		○	◎	◎	

◎効果高い、○効果あり、×悪影響あり

第3回 『だて正夢』の栽培管理

- ◆ 「だて正夢」としての品質基準をクリアするためには、丁寧な栽培管理が必要です。栽培管理のポイントを再度確認し、高品質・良食味を目指しましょう！

1. 追肥

- ・ 減数分裂期に N2kg/10a が基本です。
- ・ 幼穂形成期の茎数が 440 本/m²を下回る場合、茎数確保のため、幼穂形成期と減数分裂期の 2 回に分けて追肥します。(N1kg/10a ずつ)
- ・ 「だて正夢」は「ひとめぼれ」よりも葉色が濃くなる傾向のため、追肥の判断をする際には注意しましょう。

＜生育ステージと生育量の目安＞

	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
	7月15日頃	7月25日頃	8月10日頃
草丈(cm)	59~63	—	—
茎数・穂数(本/m ²)	440~480	410~450	360~400
葉色(SPAD値)	39~43	35~39	35~39
主茎葉数(葉)	10.0~10.8	11.3~12.0	12.5~13.0

	幼穂形成期(幼穂長1~2mm)			減数分裂期(幼穂長3~12cm)		
	カラースケール(群落)	葉緑素計値	施肥量(窒素成分量)	カラースケール(群落)	葉緑素計値	施肥量(窒素成分量)
茎数が生育量の目安の範囲にあるとき	(幼穂形成期追肥なし)			3.9~4.5	35~39	2.0kg/10a
茎数が不足しているとき	4.5~5.2	39~43	1.0kg/10a	3.9~4.5	35~39	1.0kg/10a

第2回 『だて正夢』を知ろう！

『だて正夢』の由来は？

- ・ 宮城の新たなブランド米として、『ひとめぼれ』『ササニシキ』とともに『みやぎ米』を牽引し、「米どころ宮城の復権」を目指して名付けられました。
- ・ 仙台藩祖・伊達政宗公を彷彿とさせる名前には“宮城らしさ”と、このお米でみやぎ米のブランド価値を高め、“食卓の天下を取る”という願いが込められています。

『だて正夢』のロゴの意味は？

- ・ 『だて正夢』のロゴは、五穀豊穡を表す米俵がモチーフとなっています。この米俵を4つの色にわけて、「大地」「恵みの雨」「収穫」「祝祭」の意味と、このサイクルが未来永劫続くようにとの願いが込められています。
- ・ ロゴは、中心に向かって色が濃くなっており、『だて正夢』が持つ“求心力”が表されています。



農薬危害防止運動実施中 (令和元年6月1日~8月31日)

『使用前には必ずラベルで 作物名・使用方法を確認！！』